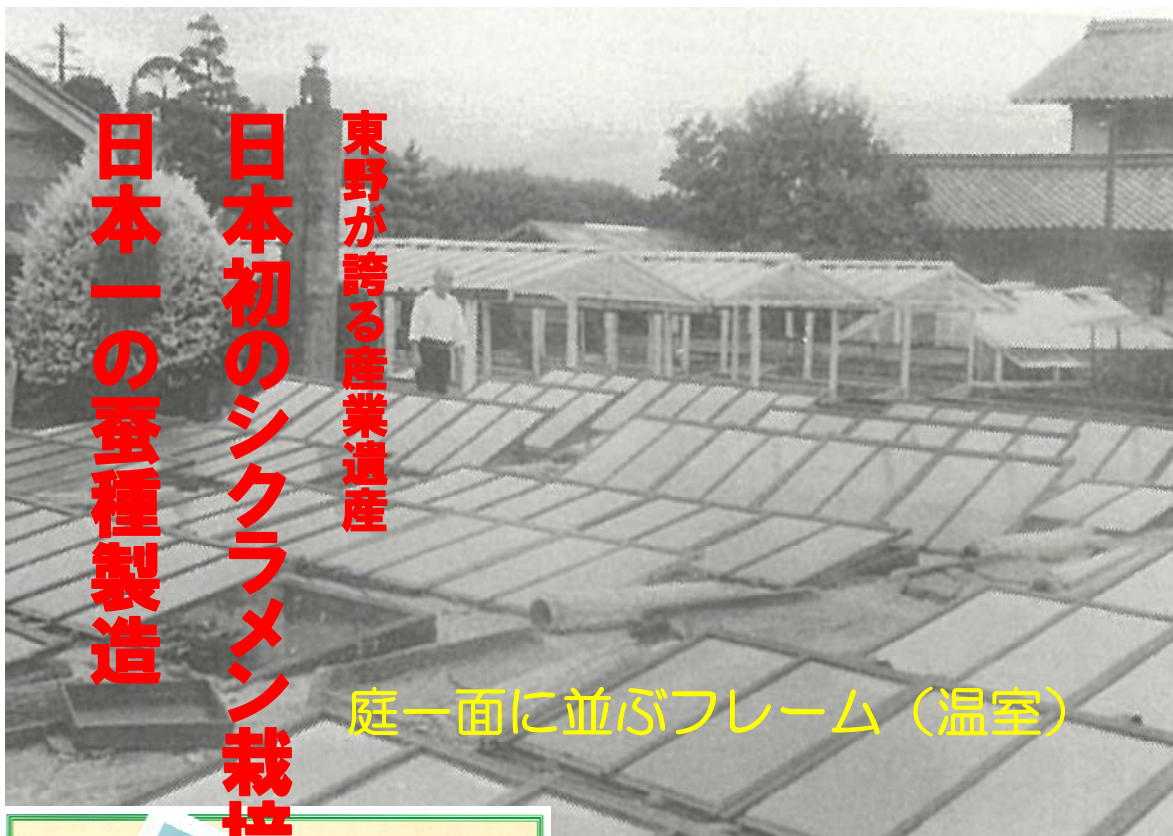


広報ひがしの

人口1632人
 (男)828人
 (女)804人
 637世帯
 (R5. 3.1現在)



庭一面に並ぶフレーム（温室）

東野が誇る産業遺産
 日本初のシクラメン栽培
 日本一の蚕種製造



東濃蚕種製造所

いろは歌で綴る
郷土ひがしの

ふ
 春の都は
 四季の山川
 土のあはれ
 うめはみどり

東野ふるさと写真展入賞作品

東野「コミュニティセンター」の駐車場の東端にいくつかの記念碑があります。

その中に、「シクラメン発祥の地」、「東野養蚕・蚕種の碑」があります。どちらも過去のもので現在にはない産業です。いわゆる産業遺産です。

シクラメンについては、日本で初めて栽培を始めたのがこの東野です。

また、養蚕は昔、東野で盛んだった産業ですが、蚕種については、日本一の生産地でした。

過去にはなりますが、日本初、日本一の産業がこのふるさと東野にあったことを地元に住む者として大変誇りに思います。その思いが冒頭に紹介した記念碑にもあらわれています。

皆さんも一度ご覧になってみてください。

日本初のシクラメン栽培

シクラメンの魅力



若き頃の伊藤氏

シクラメンは、鉢ものとして多くの人に親しまれています。その魅力はいったいどこにあるのでしょうか。

- ・蝶が舞っているような優美な花形。
- ・パステル調の優美な花色。
- ・ハート形のしゃれた葉形。
- ・全体的にほかの鉢花には見られない華麗な美しさ。

さらには、赤、白、桃、絞りなど花色は豊かで、花も大輪、小輪、フリンジなどバラエティーに富み、消費者の多様なニーズに対応できます。その他、消費者の手に渡ってからも低温に比較的強く、花期が長く、次々と咲くので、鑑賞期間が長いことも魅力の一つです。

東野が発祥地

シクラメンを本格的に栽培し

始めたのは、東野在住の伊藤孝重氏でした。ちょうど大井ダム建設のため来日していたアメリカ人技師の奥さんの勧めもあって、ドイツから種子を取り寄せ、自宅で栽培を始めました。孝重氏は花に興味があったので、そのこともシクラメン栽培に踏み切るのを後押ししました。

東野は、積雪こそ少ないものの気温は氷点下まで度々低下します。鉢花栽培にはどうしても保温施設が必要になります。しかし、当時はビニールハウスなどなく、自分の手で簡単なフレームを作ることになりました。試行錯誤の末、一年に、一個、一坪大のフレームを順番に増やしていきました。最初から最後まで一人の作業で、また、手本とするものもなく苦労が多かったようです。

こうして作ったフレームで鉢花を寒さから守り、乳母車に乗せて売って歩くという生産と販売を一人で行いました。



栽培の広がり

昭和に入り伊藤孝重氏のシクラメン栽培も軌道に乗ってきた頃、もう一人シクラメン栽培を始めたい人物がいました。千藤恩三氏です。もともと切り花を作っていました。シクラメンに興味を持ち、孝重氏より種を分けてもらい、栽培法も孝重氏に習いながらシクラメン栽培へと移っていきました。



こうして、東野地域で二人の栽培者が生まれ、販売量も増え、全国に固定客もできはじめ、順調に伸びていきました。そして、昭和9年には、戦前のシクラメン栽培の最盛期を迎えました。当時、千藤氏の家の前はすべてシクラメン栽培用の一坪大フレームが並び、フレームの数は、200をも数えるに至ったそうです。



日本一の蚕種製造

東野の養蚕は、古くは江戸時代から戦後まで地域の主要産業として村を支えてきました。今では、過去の話ですが、その歴史は、地域にとつて誇るべきものです。以下の紹介する文章は、東野の蚕種についての歴史です。小栗敏彦氏の書かれた「旧東濃蚕種関係者の皆様にお礼とご報告」に書かれたものの抜粋です。

東野蚕種製造の隆盛

天保年間に岩村藩家老丹羽瀬格庵が、農蚕を奨励し、桑を植えさせたのが東野の養蚕の始まりだといわれており、殿様桑の呼称が名残りをとどめております。桑は、河川沿岸、畔、住宅周辺に植え、田畑に植えることはありませんでした。遠く、奥州、信州から良苗を移入しました。蚕種は、近江彦根地方から買入れられました。

明治12年ころ、

蚕種製造が始まり、神坂風穴を利用して蚕種を貯蔵し、明治36年には山本風穴も開発されました。



明治40年から大正4年にかけての全盛期には、戸数三百戸のうち百三十戸が蚕種製造をして、全国はもとより朝鮮、支那大陸まで販売しました。一つの村における製造数量、戸数の多いことは、日本一、即世界一でした。明治24年には顕微鏡一台を購入し、蚕の微粒子病の検査を行って成果を上げたので、他の業者も競って顕微鏡を購入しました。

大正5年、蚕種の人工孵化法や冷蔵庫の出現により風穴蚕種の本場東野村もその影響を受け、多くの犠牲者が出ました。その後、新技術を取り入れ、種繭、原蚕種の増殖に努力し、沖縄まで進出しました。昭和に入り技術、設備、数量共に全国有数の蚕種どころとして名声をとりもどし、全国、各地へ再び販売をしました。

昭和14年、蚕種共同施設組合法の施行。小栗逸次を中心に地方業者が協力し合つて東濃蚕種共同施設組合を設立しました。

昭和18年、太平洋戦

争の拡大により、日本蚕糸製造株式会社に参加し、日本蚕糸製造株式会社東濃蚕種製造所と改称しました。



昭和21年、終戦に伴う日本蚕糸製造株式会社の解散により、岐阜県一円を区域とする岐阜県蚕種農業協同組合に改変組織して、岐阜県蚕種農業協同組合東濃蚕種製造所と改称しました。優良蚕種製造のため、設備の充実を図り、多数の人達が関与してきました。

東野蚕種製造の衰退

昭和40年代後半

蚕種の掃立量が激減し、戦後化学繊維の出現、農業の衰退等、時勢は企業努力だけでは止めがたくなりました。

昭和52年、東野

蚕種百年の伝統の灯を守ろうと努力しましたが、業務を停止しました。



ふるさと作品展(書き初め展)

東野青少年育成会議の主催で東野ふるさと作品展(書き初め展)が東野コミュニティセンターのロビーを会場として、1月19日から1月29日までの11日間展示されました。

参加者は、東野小学校全児童82名、恵那東中学校の生徒11名の合計93名と今年は東野こども園からも参加していただき、7名の園児の作品も展示されました。

小学生の書き初めは、課題が決まっています。

一年生は、「ほたる」

二年生は、「ふるさと」

三年生は、「ひがしの」

四年生は、「豊かな心」

五年生は、「保古の湖」

六年生は、「希望と夢」

です。

一、二年生は、硬筆で三年生以上は毛筆です。い

ずれも東野小学校の校歌の歌詞の中にある言葉です。



中学生は、四字熟語という条件だけで、自由です。

提出された作

品の熟語は、

「画竜点睛」

「世界平和」

「明鏡止水」

など一つとして

同じ言葉がなく、それぞれ個性的でした。

今年は、こども園からも出品していただきました。ウサギ年にちなんで画用紙に「う」の字と名前を書いた作品です。とてもかわいらしかったです。

11日間の作

品展の間に100

0名を越す参観

者がみえ、作品

展を盛り上げて

いただきました。

ご協力ありがとうございました。



園児の郷土学習

「花無山がどの山かわかりません。うちのお父さんやお母さんも知りません。教えて下さい。」と言って、東野こども園の園児が先生に連れられてやってきました。コミュニティセンターからは東野小学校の体育館がじゃまになって山が見えないので、子ども園の方に戻り、駐車場辺りで、山を教えてあげました。花無山以外にも鍋山や秋葉山、保古山、阿木山(焼山)など、見える範囲の山すべてを覚えしました。園児の時から郷土について興味を持って、勉強する姿に感心しました。きつと将来は東野のために活躍してくれることと思います。

花無山は東野を代表する山です。東野の山の富を蓄え、西行が歌にも詠んだ風光明媚な山です。阿木川と飯沼川に挟まれ、扇状地である東野を形作った山です。幼い子にとって今は名前を覚えるのが精一杯ですが、大きくなるにつれこの山についていろいろと知り、故郷の山としてしっかりと心に焼き付けてほしいと思います。



標柱設置（市民三学委員会）

東野の主な史跡には標柱がありません。これは平成二十六年年度の「東野まちづくり委員会」が設置したものです。全部で三十ヶ所に設置してあります。しかし、設置してない史跡や破損した標柱もあり、補充や修理が必要とされていきました。幸い倉庫に白地の標柱の予備が六本ありましたので、今年度の市民三学委員会で補充・修理することになりました。



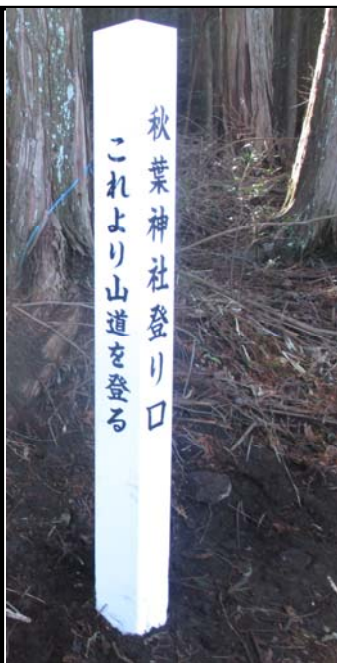
修理するのは、花無山にある西行の歌碑の標柱です。また、新たに設置する標柱は、定蓮寺川の咳神岩と秋葉神社へ登る入り口に立てる標柱です。

二月十四日、三学委員会の丸山文憲さんと事務局とで新しい標柱二本と取り換え標柱一本を設置しました。



西行の標柱は、歌碑から二十メートルほど離れたところに立っています。また、定蓮寺川の標柱は岩のすぐ横に立てました。公文橋の信号の所からよく見えます。秋葉神社の登り口の標柱は、地藏ヶ平の保古の湖用水を渡ったところに設置しました。

興味のある方は、一度見にいってみてください。



東野地区地域学校協働活動

カワニナの放流



2月22日、東野小学校2年生16名が、ゲンジボタルの幼虫とカワニナを放流しました。まず、教室でホタルに詳しい地元の村山昇さんから生態について話を聞いた後、宗久寺近くの定蓮寺川で放流しました。この体験学習は、生活科の「ふるさと学習」の一環として実施されました。6月には、放流場所近くで「ほたる祭り」が予定されています。児童たちは、その時に飛び交う姿を楽しみにして放流していました。

東野地区地域学校協働活動

みそづくりとげんこつあめづくり

二月八日、東野小学校の家庭科室において、みそづくりとげんこつあめづくりの学習がありました。参加したのは、3年生の8名です。エプロンとフキンとマスクで身支度した子供たちは、やる気満々で、熱心にJAの食農リーダーの4人の講師の方々の話をよく聞いていました。

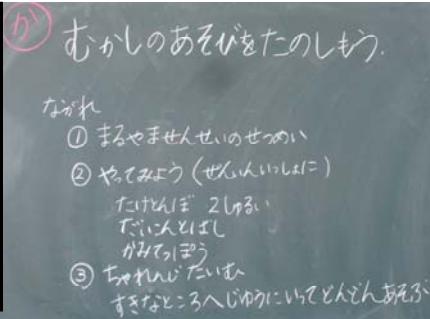


みそづくりでは、豆と麴とみつを混ぜたものを機械に入れてつぶしたものをみて「モンブラン」だと歓声が上がりました。その後、ひとりひとり順番に機械のいれるのを体験させてもらっていました。楽しそうな姿が印象的でした。



昔のあそび

1月20日、東野小学校の体育館で、1年生が昔の遊びを体験しました。推進員の丸山文憲さんに、トンボや大根飛ばし等の昔の遊びの道具を準備していただきました。体育館に一列に並び、一斉に楽しそうに飛ばしていました。



記念植樹

2月28日、恒例の東野小学校卒業記念植

樹が生産森林組合の協力で実施されました。6年生13名が先輩たちの植樹した隣に、自分たちの植樹をしました。天気も良く、気持ちの良い日で、思い出に残る植樹になりました。



凧あげ

秋の文化祭の時に作品展で掲示した東野小学校一年生の凧がいよいよ大空へはばたく日が来ました。

1月19日の朝、東野小学校のグラウンドでそれぞれ自分の凧を空に飛ばそうと頑張りました。推進員の丸山文憲さんの支援で、大きく飛ばたき、舞い上がりました。

凧には、真っ白な紙に、大きく自分の名前が書いてあります。大きさは、子どもの身長半分ほどもあり、立派なものです。

風が適度に吹いていると、楽に舞い上がりますが、この日のこの時間は、ほとんど無風に近く、凧を上げるには、走らなければなりません。汗をかいて上げるのに必死でした。上がった凧は、自分では、走っているのを見にくいですが、他の子が喜んでいました。

午後になり、放課後には少し風が吹いてきたので、子ども達は凧を持ち出して、飛ばしていました。



いろは歌で綴る

郷土ひがしの

市民三学委員会

い 古の 五輪の数や 四十二基
 ろ 六地藏 厄病よけの 供養塔
 は 番屋の松 伊勢湾台風で 倒れけり
 に 日本一 蚕種製造 村の誇り
 ほ 保古の湖で 水は潤う 百町歩
 へ 平穏な 暮らしを守る 安全パト
 と 図書借りに コミセン通いの 小学生
 ち 提灯の 灯りで踊る 夏祭り
 り 林道を 登りて行けば 四十八滝
 む ぬうて行く 列車は山路を 幾廻り
 る るり色の 空に西郷も 見た紫雲
 を 大堰湯 明和飢饉に 作りけり
 わ 若宮に 東山道の 駅屋あり
 か 語り継げ 寒天、蚕に シクラメン
 よ よき村を 尚良く築け 令和の新時代

た WRC おらが里が レース場
 れ 令和の 保古開発 グランピング
 そ その昔 地藏が平の 定蓮寺
 つ つくせない 思いをさせよ 先哲へ
 ね 熱と汗 真夏の昼の ぼた草刈り
 な 南朝の 昔をしのぶ 五輪塚
 ら ランドセル 今は水色 昔は赤と黒
 む 村に祀る 八社を巡り 成就祈願
 う 鶯に 花無山の 春を知る
 む 今もなお 語り継がれる シクラメン
 の 信長の 造った出城 陣屋跡
 お 思い出す 山本風穴 藤川翁
 く 雲宮 大門 宮の跡
 や 厄払い 村境に立つ 妻の神
 ま 学び舎の 児童は今や 八十人
 け 境内に 古き大木 八坂神
 ふ ふるさとの 四季の山川土のぬくもり
 こ 小野川の 薬師は美濃の 三薬師
 え 恵東座は 東野地歌舞伎 発祥地
 て 天然記念物保古の湖畔の「コヨウツツジ」
 あ 阿木川の ダムの湖畔が 桜の名所

さ 山論の 鎮めの森や 城ヶ峰
 き 記念林 金原翁や 山の富
 ゆ 豊かなる 村を眺めて 走る列車
 む 名所・旧跡 竹林庵や 夢の跡
 み 水が出て 広田神社 渡りかね
 し 常夜灯 秋葉様への 道しるべ
 彖 笑顔なる阿木川湖畔の フレンドリー
 ひ 火の神を 迎え祀る 秋葉山
 も もう一度 村に歌舞伎の 賑わいを
 せ 咳神岩に コロナ退散 健康祈願
 す すぎし年 畑を田にせる 畑田井湯
 ん 運動場 万場堤が 集いの場

このいろは歌は、郷土ひがしのの歴史と世相をできるだけ五・七・五の形になるように詠んだものです。昭和16年の秋に発行された郷土東野の巻末に載っていた三宅道一郎さんがつくられたいろは歌をもとに、長谷川多平さんの歌と新しい歌を加えて作成したもので、歴史的な積み重ねもあります。

郷土ひがしのの魅力を広く、深く掘り起こし広めることは東野の未来をつくっていくことにつながります。

前期市民講座の受付 4/15（土）9時～

詳しくは東野コミュニティセンターまで
お問い合わせください。

東野コミュニティセンターで開催の講座一覧

講座名	対象	講座内容	回数
はじめてみようコンポスト！生ごみを堆肥に・エコな生活	一般 10名	家庭で出る生ゴミを堆肥にし、家庭菜園やガーデニングに活用しゴミの減量を目指しましょう。	2
セルフマッサージ	一般 12名	手のひら、足裏、顔など。いつでもどこでも出来る、セルフマッサージで体調を整えます	3
スポーツ吹矢	一般 5名	集中力を高め、健康増進・ストレス解消を図りましょう	5
季節の和菓子 いちご大福	一般 8名	和菓子でほっと一息！旬のいちごを使ってプロのコツを伝授！	1
いろは歌でめぐる！ 郷土ひがしの	一般 10名	48句をとおして、東野の今と昔をさぐる	2
「恵那の家庭料理」 ほおば寿司	一般 8名	季節の定番料理、ほおば寿司。ほおばの香りを楽しみながら作りましょう	1
今日からわが家のシェフ♪	一般 8名	食べる事が好き！作ることが好き！料理をやってみたい！どなたでも大歓迎。あなたもキッチンに入ってみませんか。	2
座ってできる！ シニアのいすヨガ	65歳以上 10名	優しい動きが気持ちいい！椅子を使って簡単・気軽にできます	8
楽しく歩こう！ 東野散歩	一般 20名	皆さんと一緒にお話ししながら、軽やかウォーキング	8
簡単！骨盤体操でリフレッシュ！	一般 10名	骨盤体操で綺麗・健康な体を作ります。口コミ（運動器症候群）対策もバッチリ！	3

乳幼児学級
すくすく
クラブ

2月16日（木）
ちちんぷいさんによる「大型紙芝居」と空箱を使った遊びをしました。迫力があって子供達も集中して観ることが出来ました。



***** 令和5年度の募集が始まります *****
◆0～3歳までのお子さんをお持ちのご家族の活動です。
◆途中からの参加も可能です。お気軽にお声掛けください。

発行
東野コミュニティセンター ☎二六―二五五
東野地域自治区運営協議会 ☎二六―二四四

東野地域安全パトロール（4・5月）
金曜日16:00～17:00

4 月	
7日	始業式
14日	東野開発振興会
21日	東野開発振興会
28日	東野自治連合会(上)
5 月	
5日	祝日
12日	東野自治連合会(下)
19日	東野小学校PTA
26日	恵那東中学校PTA

今年度もよろしくお願ひします

令和5年度が始まりました。新型コロナウイルスの感染は収まる気配もなく依然として流行しています。世の中はウィズコロナで徐々に動き出してきました。今年度は、コミュニティセンターの活動も、地域自治区運営協議会の活動も少しずつコロナ前の状態に戻していく年度になりそうです。

新型コロナウイルスが流行してきたこの3年間、人流が抑制され、すべての活動が沈滞していました。コロナ前のように活性化するにあたり、これを機に、これまでなかなかできなかったことに挑戦するなど、新たな活動を生み出すチャンスでもあります。ピンチはチャンスです。ぜひこの機会を生かしたいものです。